

学校名	三郷市立彦成中学校
所在地	三郷市彦成4-1-19
電話	048-957-1201

1 本校の概要

昭和50年の開校以来39年目を迎えている本校は、普通学級5クラス、特別支援学級6クラスで生徒数172名の「小さな実力校」である。「自ら学ぶ生徒 思いやりのある生徒 心身をきたえる生徒」の教育目標のもと「学力向上に努め、夢と生き方を見つける彦成中」を目指して日々の教育活動を展開している。また地域密着型の学校づくりの中で、小中の連携を深めたり、学校の特色として「ボランティア活動」に力を入れている。今年度は延べ500名以上が参加した。

本市は「日本一の読書のまちみさと」という自負のもと、「日本一読書のまち」宣言を行い、積極的な読書活動を推進している。

2 本校の実践

(1) 実践の視点

読書活動の充実と読書環境の整備

(2) 実践の概要

ア ボランティアによる読み聞かせ

月1回ボランティアの方が、各クラスを順番にまわり、どの学年も3ヶ月に1回は読み聞かせを体験できる。また、特別支援学級においては、更に別の団体が月1回読み聞かせ及び紙芝居を実施してくれている。



イ 朝の10分間読書

毎日始業前に10分間の「朝の読書」を実施している。生徒は、自分の好きな本を持ち込んだり、図書室から借りたり、市内の図書館からお借りしている学級文庫を読んだりと意欲的に読書活動に励んでいる。朝の10分間を、静けさに包まれ、物音なしの時間がゆっくりと流れていく。



ウ 図書委員会の活動

積極的な読書紹介を行っている。ポップを作成し、広く生徒に紹介したり毎日昼休みには、図書室で貸出業務を行っている。



エ 授業における積極的な図書館利用

国語を中心に積極的に活用し、調べた事は、掲示することによって更に図書室使用への意欲を高めている。



オ 工夫された図書館

三郷市は市民総ぐるみで図書室の環境整備に力を入れている。蔵書数も豊富であり、何より図書館司書さんが週2回勤務し、サポートしてくれている。



カ 学期別貸出冊数上位者の掲示

生徒に読書量調査のカードを配布し、図書室で借りた以外の本も読んだ冊数として記録できるようにしている。

キ タイムリーな話題の提供

今年開催される、ソチオリンピックにむけて、オリンピックについてのコーナーを設置するなどの工夫をした。



3 成果と今後の課題

(1) 成果

生徒の読書意識は確実に向上し、読書量も増えてきている。また、保護者の意識も「家読」推進の効果が表れてきている。

(2) 課題

学力向上を図るひとつの手段として読書活動を推進しているが、その成果が十分に発揮できていない。更なる工夫が必要である。